

事業の目的

家庭学習を活用した基礎・基本の徹底と、生徒の「できる」喜びと「学ぶ意欲」を育むことで、さらなる知識の習得と資質・能力の育成を図る「学びの好循環」を作り出すことで、「何を知っているか」から、「何ができるようになったか」を重視する「学びの变革」を行うとともに、変化・複雑化する課題の解決に必要な資質・能力（コンピテンシー）を育成することを目的とする。

成果指標

- 問題に解答するときに、「単に答えだけでなく、答えに至る過程や根拠まで説明できるようにしている」生徒の割合
- 基礎・基本の徹底のために家庭学習を活用する教員の割合

滋賀で育
てたい資
質・能力

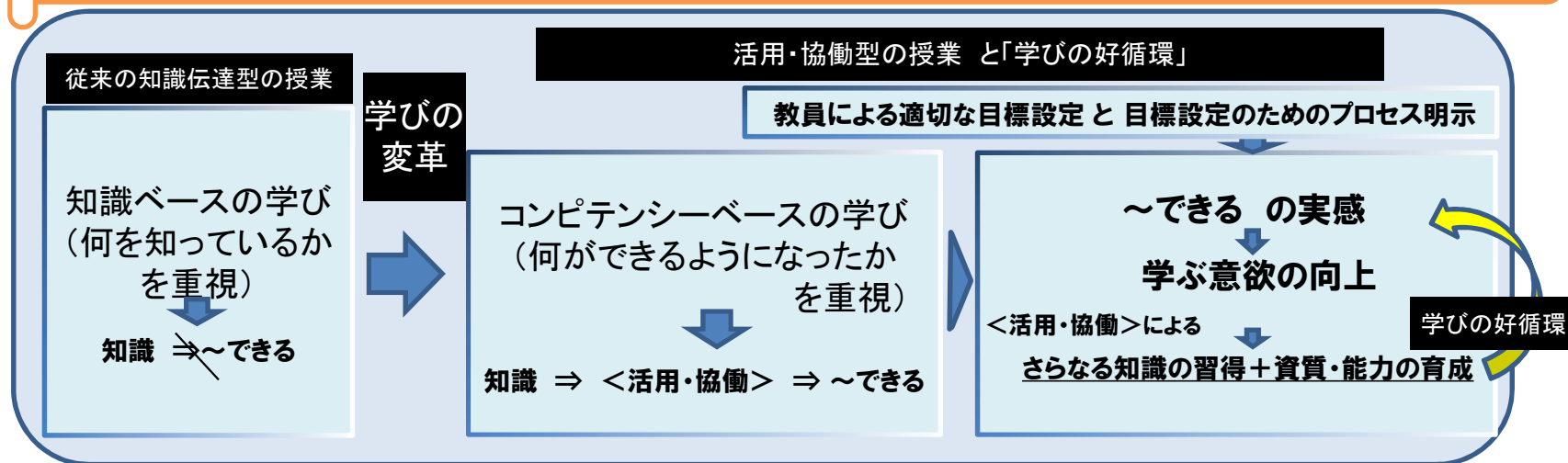
【具体的な資質・能力(コンピテンシー)】

(能力) 知識・情報処理能力、思考力・判断力・表現力、課題発見・解決能力、論理的・建設的批判能力、コミュニケーション能力、英語運用能力 等
 (意欲・態度) 学び続ける意欲、他者と円滑に人間関係を構築する能力、他者と協働する能力、争いを処理し解決する能力、多様性に対する適応力 等
 (価値観等) 滋賀への深い愛着、自分への自信、異文化理解・共感力、アイデンティティ、使命感 等

学びの变革と变革の方向性

学びの变革 ～「何を知っているか」から「何ができるようになったか」を重視する学びへの転換～

家庭学習を活用した基礎・基本の徹底と、生徒の「できる」喜びと「学ぶ意欲」を育むことで、さらなる知識の習得と資質・能力の育成を図る。



「学びの变革」3つの柱

